

# いち宮の芸術文化



市川房枝生家跡記念広場（一宮市明地）

- ❑ [特集] 市川房枝 ～愛知県時代の歩み～
- ❑ 一宮市芸術祭アルバム
- ❑ 第83回一宮市美術展（報告）
- ❑ [エッセイ] 我が町の絆を求めて！～瀬部の白台祭に託す～  
芸能部門 一宮民俗芸能連盟（瀬部山車・白台祭保存会）／川浦 克規
- ❑ 文化情報

2025.12

第68号

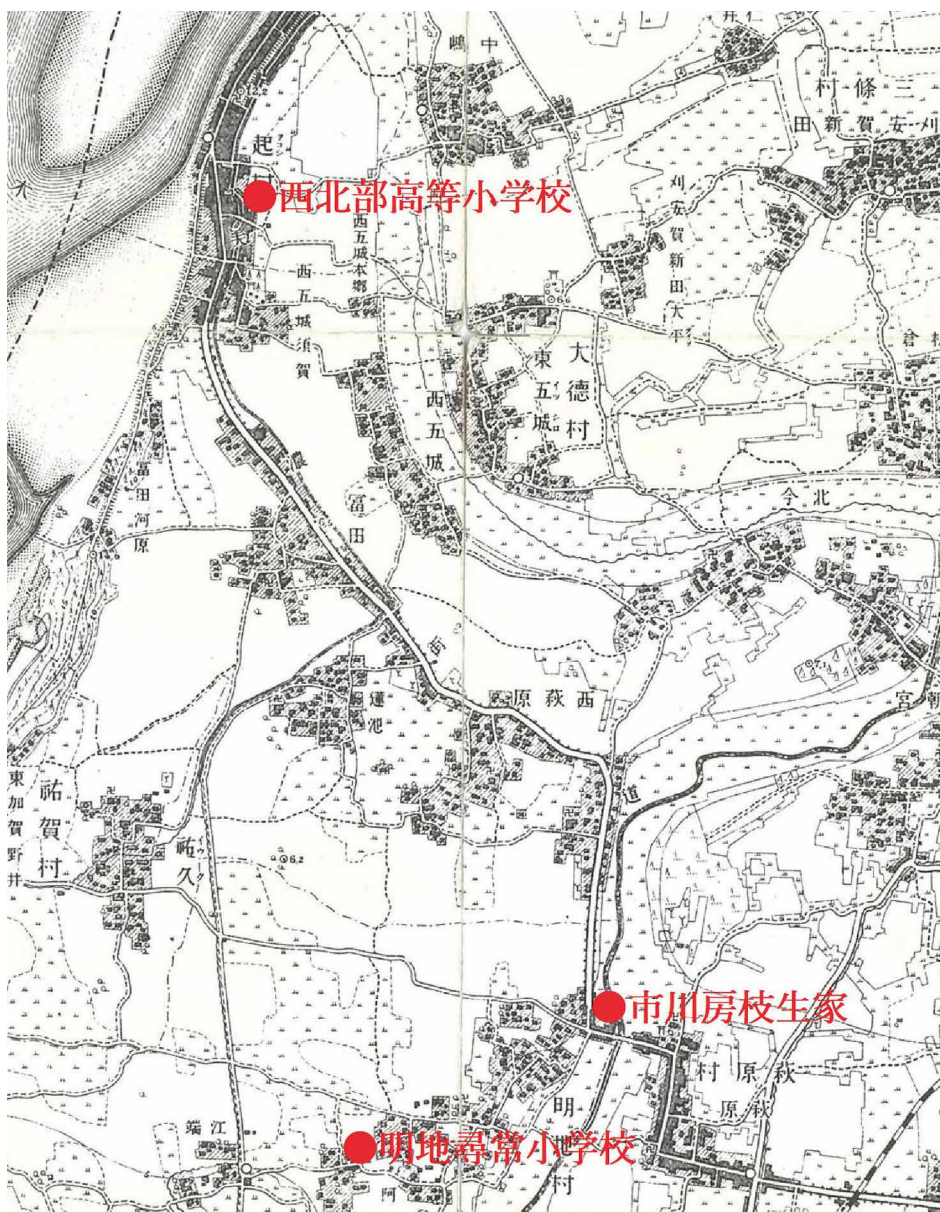
一宮市芸術文化協会

「二宮市」には、二宮市博物館・宮市三岸節子記念美術館・二宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

## 市川 房枝

### 「愛知県時代の歩み」

女性参政権の実現に活躍した市川房枝（八九三～一九八二）は明治二十六年五月に明地村吉藤で生まれました。二十五歳で上京するまで、そのほとんどを愛知県で過ごししました。後年、房枝が自分の人生を振り返った時、その活動の原点は「父の暴力に耐える母の姿」であったとされます。房枝の父、藤九郎は短気で、房枝の学校の成績が悪いと母にあたることもありました。一方で、酒や煙草、賭け事もしない真面目な農民であり、子どもの教育には支援を惜しみませんでした。また、勉強を強制させることもしませんでした。



▲地図（明治時代中期の房枝の生家周辺）

房枝は明地尋常小学校（現在の朝日東小学校）に通いますが、勉強は苦手で、弁当を持って家を

出ても、どこかに隠れていて、学校に行かない時もあったそうです。高等小学校（現在の中学校）は起町にあった西北部高等小学校（現在の起小学校）に通いました。自宅から起までは二里（四km）あり、松並木の中を通い、冬は「伊吹おろし」の強風に悩まされたそうです。担任の先生は、愛知県



の師範学校を卒業したばかりの岩田よねで、厳しいながらも、房枝にとって「憧れ」だったそうです。師範学校を出て免許を持つ教員は、房枝には初めて出会う「社会で活躍する女性」だったのかもしれない。

明治四十年（一九〇七）高等小学校を卒業した房枝は、兄の藤市がいるアメリカに行こうと決心しますが、県から許可されず、家で農業や養蚕を手伝いました。房枝は自分の太い手や肩ががつりしているのは、この農作業で鍛えられたものと語っています。全国を飛び回って演説する体力はこの時に培われたと考えられます。



▲ラケットを持つ市川房枝  
（「雄弁」第22巻7号昭和6年）  
一宮市尾西歴史民俗資料館蔵

翌明治四十一年（一九〇八）、上京して女子学院（東京都千代田区）に入学します。女子学院の創始者矢島楯子（やしまかじこ）（一八三三―一九二五）は明治時代の女性教育の先駆者でした。卒業生には、女性社会運動家の先駆けとなる福田英子（一八六五―一九二七）や後に房枝とともに女性参政権運動で活躍する久布白落実（くぶしろおちみ）（一八八二―一九七二）がいます。しかし、キリスト教系の学校である女子学院に房枝は馴染むことができず、また兄からの支援も無くなったこともあり、四か月余で退学します。

郷里に戻った房枝は、萩原町尋常高等小学校の代用教員となります。房枝は正規の教員になるため、明治四十二年（一九〇九）師範学校に入学し教師の道を進みます。入学当初は自由な校風に生き活きとしたキャンパスライフを過ごしていました。四年生の時、「良妻賢母主義」を押し付ける校長と対立して、授業をボイコットしたエピソードは有名です。

大正二年（一九一三）に卒業した後、母校の朝日尋常高等小学校に赴任し、翌年名古屋の小学校

に移ります。房枝が教師をしていた時代は、「大正デモクラシー」と称される民主主義的な議論が盛んな時代でした。房枝は、東京の学校への異動を願い出しましたが、許されませんでした。体調不良も重なり教師を退職します。房枝の教師生活はわずか二年余でしたが、「女性も職業を持つべき」ということを語っていたことを、後年の同窓会で教え子が思い出話として語っています。教師を退職した後は、名古屋新聞の記者を務めますが、東京での活動を熱望する房枝は、再び上京を決心し、大正七年（一九一八）二十五年間の愛知県での生活に別れを告げて上京します。上京後は、平塚らいてう等と新婦人協会を設立したり、労働問題や女性参政権運動に取り組み、昭和二十八年（一九五三）に参議院議員に当選しました。

今年は女性参政権が実現して八十年の年です。尾西歴史民俗資料館では特別展、尾西市民会館ではシンポジウムを開催します。ぜひ足をお運びください。

# 0回 芸術祭

(9・10月分)



## 音楽部

### 第23回一宮市民音楽会



10月5日(日)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
一宮第九をうたう会

### 濃尾岳風会一宮支部一吟会



9月23日(火・祝)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
濃尾岳風会一宮支部

### 第52回一宮音楽家協会定期演奏会



10月12日(日)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
一宮音楽家協会

### 一宮合唱祭



10月19日(日)  
尾西市民会館  
一宮合唱協会

## 第83回 一宮市美術展

11月13日(木)～16日(日)、一宮スポーツ文化センターで「第83回一宮市美術展」が開催されました。

市内を中心に近隣市町村や県外からも多数作品が寄せられ、審査の結果、入賞となった135作品をはじめ444作品が展示されました。

期間中は、3,300名を超える方々が来場され、作者の熱い思いが詰まった作品を熱心に鑑賞されていました。

会期中には審査員によるギャラリートークが行われました。入賞作品などの解説のほか、作者の方や、来場された方との交流もあり、作品に対する理解が深まる豊かな鑑賞体験をしていただけました。

市長賞を受賞された方は右のとおりです。なお、掲載順は順不同です。(敬称略)

### 市長賞

日本画  
日洋洋洋  
彫刻・立体  
工芸  
デザイン  
書書書  
写真

芳典子  
蘇英暁  
紫段井  
赤沖桜  
TAK  
EHI  
加藤  
伊藤  
松永  
内藤  
西山  
山谷  
也なみ  
翠茜  
照美  
真さひ  
と春  
美紅  
覚



ギャラリートーク(洋画)  
解説 堀尾 一郎さん



ギャラリートーク(日本画)  
解説 高橋 弘子さん



「第80回 一宮市芸術祭」を9月から市内各所で  
開催しました。各団体の様子をご紹介します。  
次号も引き続き掲載予定です。

第8

# 一宮市

## 開催報告

### 文学部

#### 狂俳大会



10月11日(土)  
葉栗公民館  
一宮狂俳壇連盟

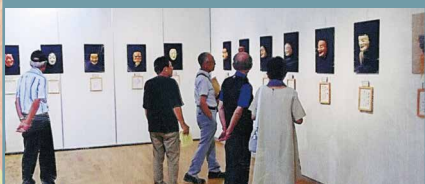
#### 一宮現代詩発表会



10月26日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
一宮現代詩協会

### 美術部

#### 第26回能・狂言面作品展



9月6日(土)～9月7日(日)  
三岸節子記念美術館  
尾西面打会

#### 第59回麗筆会展



9月19日(金)～21日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
書道研究麗筆会

#### 一宮美術作家協会展2025



9月20日(土)～28日(日)  
三岸節子記念美術館  
一宮美術作家協会

#### 第22回尾西展



10月1日(水)～5日(日)  
三岸節子記念美術館  
尾西美術連合

#### 土筆の会展



10月2日(木)～5日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
土筆の会

#### 第34回みづゑ会水彩画展



10月2日(木)～5日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
みづゑ会

#### 山ぶどうの会展



10月2日(木)～5日(日)  
一宮スポーツ文化センター  
山ぶどうの会

#### 第24回一宮写真協会選抜写真展



10月4日(土)～13日(月・祝)  
博物館  
一宮写真協会

#### 第35回手つむぎ・染め・織り展



10月15日(水)～19日(日)  
玉堂記念木曾川図書館  
尾張もめん伝承会

#### 第2回美朋会展



10月28日(火)～11月2日(日)  
尾西信用金庫事務センター  
美朋会

#### 第19回IBK美術作家展



10月28日(火)～11月2日(日)  
玉堂記念木曾川図書館  
IBK美術作家





瀬部町内の風景

我が瀬部町内では、明治以前より「臼台祭」と言う名の夜祭りが、毎年夏に行われてきました。古くは、観音様の命日である旧暦の七月十日に実施されており、農民の米作りの作業が一段落した時期でもありました。しかし、高度経済成長期になると農家の若者の多くがサラリーマンとなって町内を出ていきました。このため、祭りの

我が瀬部町内では、明治以前より「臼台祭」と言う名の夜祭りが、毎年夏に行われてきました。古くは、観音様の命日である旧暦の七月十日に実施されており、農民の米作りの作業が一段落した時期でもありました。しかし、高度経済成長期になると農家の若者の多くがサラリーマンとなって町内を出ていきました。このため、祭りの

我が瀬部町内では、明治以前より「臼台祭」と言う名の夜祭りが、毎年夏に行われてきました。古くは、観音様の命日である旧暦の七月十日に実施されており、農民の米作りの作業が一段落した時期でもありました。しかし、高度経済成長期になると農家の若者の多くがサラリーマンとなって町内を出ていきました。このため、祭りの



臼台祭クライマックスの状況

民同士のつながりが弱くなっていることも現実です。ここは田園地帯ですが、「何処の誰かも分からない人たちも町内で生活している」と思われる日常がきています。

同じ町内に住むことになったのは、「縁」です。日常の挨拶くらはいは互いに言い合える状況を作り出すための手段として、より多くの町民が年一回の臼台祭に担い手として参加することが大切です。その場でお互いに名乗り合って、「言葉かわす」。そのことにより第一歩を踏み出す。祭りへの参加を毎年継続することにより、「臼台祭」が町民同士の「接着剤

となり、こうしたつながりが「縁」となり、また防犯カメラの役目にもなります。

津島の天王祭に代表される巻藁提灯飾りは他地域にもありますが、提灯飾りを挽き臼の様に回転させるものは、全国的にも珍しいと推察します。臼台祭は平成二十二年に一宮市無形民俗文化財にも指定されている祭りです。祭りでは保育園の年長さんから、小中高大生、後期高齢者までが、交代しながら、一緒にお囃子の演奏をします。

八月第三土曜日 臼台祭をぜひご覧ください！お待ちしております！



子ども達のお囃子の演奏風景

# 文化情報



「ストラスブール」 長谷川 厚一郎

## 県文化協会連合会の催し

### 西尾張部芸能大会

日時 ▼ 12月21日(日) 午後1時～  
会場 ▼ 大口町民会館  
入場料 ▼ 無料

内容 ▼ 本協会に所属する宮後住吉

踊保存会(宮民俗芸能連盟)をはじめ、西尾張部9市町村の文化協会の代表が詩吟やダンスなどを披露します。

### 第50回記念愛知県文連美術展

会期 ▼ 令和8年1月20日(火)～

25日(日)

午前10時～午後6時

(23日は午後8時まで、25日は午後4時まで)入場は閉館の30分前まで

会場 ▼ 愛知県芸術文化センター

入場料 ▼ 一般600円(前売500円)高校生以下無料

※1月19日(月)まで生涯学習課で前売りしています。

### 愛知県民茶会(報告)

10月19日(日)、愛三文化会館(大府市)を会場に、愛知県民茶会が開催されました。愛知県文化協会連合会と大府市文化協会のご尽力により4つの文化協会の皆さまが設席され、当日は約1,000人の方が来場されました。

### 『いちのみや文芸』を発刊

10月18日(土)に『いちのみや文芸2025』を発刊しました。

随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の7部門あわせて203人から寄せられた1,569作品を掲載しています。ぜひ一度、手に取ってお読みください。

価格は1冊800円です。

ご希望の方は事務局(市生涯学習課)までお尋ねください。



### 文化講演会(報告)

#### がんばらない生き方

～肩の力を抜いて楽しく生きる～

講師

池田 清彦 さん

大勢の方が心待ちにしていた文化講演会が10月18日(土)に尾西市民会館で開催されました。

講演会では池田さんらしい「がんばらない生き方」についてを軽快な語り口でお話しされ、テレビで見る池田清彦さんを身近に感じていただけました。

来場された方からは「楽しい時間を過ごせた」と好評のお声をいただく講演会となりました。



## 加入団体の 催し

### 『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼1月6日(火)・2月3日(火)

3月3日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作

詩の添削の検討を会員間で  
行います。(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円

申込み▼当日直接会場

### 『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼1月10日(土)・2月14日(土)

3月14日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

### 『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(71)2716

日時▼1月10日(土)・24日(土)

2月7日(土)・21日(土)

3月21日(土)・28日(土)

午前9時30分〜正午

会場▼アイプラザ一宮第5会議室

内容▼実地指導(初心者歓迎)

参加料▼月3,000円

(見学は無料)

申込み▼当日直接会場

### 『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼1月11日(日)・2月8日(日)

3月8日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実  
作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

### 『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼1月18日(日)・2月15日(日)

3月15日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を一宮市民  
俳句教室委員が指導しま  
す。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末(必着)

までにハガキにて、参加

希望月・当季雑句2句

(初参加の方は希望者の

み)・郵便番号・住所・氏

名(ふりがな)・電話番

号・参加経験の有無を

記入の上、下記事務局

まで送付

### 『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(69)1421

日時▼1月25日(日)・2月22日(日)

3月22日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一

宮川柳社委員が指導しま

す。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の

3日前までに電話で生

涯学習課(☎(85)70

74)

### 『新年短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼1月25日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼事前募集した中から互選に  
より優秀作を表彰します。

参加料▼500円(見学無料)

申込み▼詳細は事務局までお問

い合わせください。(見

学は申込不要)

### 『(公社)中部日本書道会 一宮支部講演会』

【問合せ先 (公社)中部日本書  
道会一宮支部】

☎090-4265-6098

日時▼2月15日(日)

午後4時〜5時30分

会場▼一宮商工会議所3階大ホール

演題▼私の書

講師▼松下英風さん(日展会友・

読売書法会常任理事・(公社)

中部日本書道会理事長)

入場料▼無料(一般聴講歓迎します)

申込み▼当日直接会場

●ご意見・ご感想などございましたらお気軽に下記連絡先までお寄せください。

[題 字]武 山 翠 屋  
[編集・発行]一宮市芸術文化協会

[連絡先]一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号  
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213